

事業活動収支計算書

ふれあい新聞

夏号



水田と第二やはぎ苑「農・福連携」

発行日 平成 26 年 7 月 1 日 第 54 号

発行 社会福祉法人 瑞穂会

ふれあい新聞編集部

本部 〒444-0936

岡崎市上佐々木町字大官 49 番地

TEL (0564) 34-3666

FAX (0564) 34-2347

平成25年度 社会福祉法人瑞穂会 決算の状況について

第5号様式

貸借対照表

社会福祉法人 瑞穂会

平成 26年 3月 31日現在

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	561,084,819	558,772,556	2,312,263	流動負債	255,675,215	266,058,252	-10,383,037
現金預金	144,622,832	146,828,233	-2,205,401	未払金	251,354,235	252,789,532	-1,435,297
未収金	414,767,910	409,038,182	5,729,728	預り金	4,320,980	13,268,720	-8,947,740
貯蔵品	39,000	39,000	0				
前払金	1,655,077	2,867,141	-1,212,064				
固定資産	2,463,495,232	2,569,563,613	-106,068,381	固定負債	732,535,000	820,101,000	-87,566,000
基本財産	2,366,025,817	2,462,350,844	-96,325,027	設備資金借入金	720,020,000	797,590,000	-77,570,000
建物	2,041,455,068	2,141,245,095	-99,790,027	長期運営資金借入金	12,515,000	22,511,000	-9,996,000
土地	323,570,749	320,105,749	3,465,000	負債の部合計	988,210,215	1,086,159,252	-97,949,037
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0				
その他の固定資産	97,469,415	107,212,769	-9,743,354	純資産の部			
建物	2,132,736	2,390,762	-258,026	基本金	297,356,288	297,356,288	0
建物付属設備	3,746,532	4,526,157	-779,625	基本金	297,356,288	297,356,288	0
構築物	59,298,423	65,973,598	-6,675,175	国庫補助金等特別積立金	1,089,924,362	1,150,626,561	-60,702,199
機械及び装置	1	1	0	次期繰越活動収支差額	649,089,186	594,194,068	54,895,118
車両運搬具	10	405,225	-405,215	次期繰越活動収支差額	649,089,186	594,194,068	54,895,118
器具及び備品	16,227,842	17,644,033	-1,416,191	(うち当期活動収支差額)	54,895,118	61,465,698	-6,570,580
土地	10,183,525	10,183,525	0				
権利	4,193,190	4,284,208	-91,018	負債の部合計	2,036,369,836	2,042,176,917	-5,807,081
ソフトウェア	177,156	295,260	-118,104	負債及び純資産の部合計	3,024,580,051	3,128,336,169	-103,756,118
投資有価証券	10,000	10,000	0				
その他の固定資産	1,500,000	1,500,000	0				
資産の部合計	3,024,580,051	3,128,336,169	-103,756,118				

脚注

1. 減価償却費の累計額 1,383,035,069円

注記

1. 国庫補助金等特別積立金の取崩累計額 769,853,258円

2. 担保に供されている資産の種類及び金額

基本財産 建物 2,041,455,068円

基本財産 土地 299,557,749円

3. 担保している債務の種類及び金額

設備資金借入金 720,020,000円

なお、事業報告及びその他の決算書類については、やはぎ苑及びくわがいの事務所にて閲覧できますので、お気軽にお申し出下さい。また、当法人ホームページ (<http://www.mizuho-kai.or.jp/>) にて掲載致します

事業活動収支計算書

(自) 平成 25年 4月 1日 (至) 平成 26年 3月 31日

社会福祉法人 瑞穂会

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減
事業活動収支の部	収入			
	介護保険収入	1,362,962,115	1,337,306,263	25,655,852
	利用料収入	12,925,370	12,184,852	740,518
	私的契約利用料収入	2,443,350	2,416,050	27,300
	経常経費補助金収入	10,872,400	15,535,223	-4,662,823
	寄附金収入	3,282,912	901,000	2,381,912
	雑収入	24,965,997	23,830,297	1,135,700
	借入金元金償還補助金収入	3,495,000	3,495,000	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	60,702,199	62,147,018	-1,444,819
	事業活動収入計(1)	1,481,649,343	1,457,815,703	23,833,640
支出	人件費支出	985,498,154	960,275,692	25,222,462
	事務費支出	118,762,161	108,639,674	10,122,487
	事業費支出	199,105,165	191,281,897	7,823,268
	利用者負担減免額	68,484	88,826	-20,342
	減価償却費	111,864,915	122,977,808	-11,112,893
	徴収不能額	9,723	0	9,723
事業活動支出計(2)	1,415,308,602	1,383,263,897	32,044,705	
事業活動収支差額(3) = (1) - (2)		66,340,741	74,551,806	-8,211,065
事業活動外収支の部	収入			
	借入金利息補助金収入	359,000	441,000	-82,000
	受取利息配当金収入	36,064	28,979	7,085
	経理区分間繰入金収入	58,077,859	47,170,388	10,907,471
	事業活動外収入計(4)	58,472,923	47,640,367	10,832,556
	支出			
借入金利息支出	12,115,681	13,557,082	-1,441,401	
経理区分間繰入金支出	58,077,859	47,170,388	10,907,471	
事業活動外支出計(5)	70,193,540	60,727,470	9,466,070	
事業活動外収支差額(6) = (4) - (5)		-11,720,617	-13,087,103	1,366,486
経常収支差額(7) = (3) + (6)		54,620,124	61,464,703	-6,844,579
特別収支の部	収入			
	固定資産売却益	274,999	999	274,000
	特別収入計(8)	274,999	999	274,000
	支出			
	固定資産売却損・処分損	5	4	1
国庫補助金等特別積立金積立額				
特別支出計(9)	5	4	1	
特別収支差額(10) = (8) - (9)		274,994	995	273,999
当期活動収支差額(11) = (7) + (10)		54,895,118	61,465,698	-6,570,580
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)	594,194,068	532,728,370	61,465,698
	当期末繰越活動収支差額(13) = (11) + (12)	649,089,186	594,194,068	54,895,118
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基本金組入額(15)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)	0	0	0
	その他の積立金積立額(17)	0	0	0
次期繰越活動収支差額(18) = (13) + (14) - (15) + (16) - (17)		649,089,186	594,194,068	54,895,118

くわがいで

防災訓練を終えて

生活相談員 伊藤 博光

六月二十日に、くわがいで防災訓練を行いました。今回の訓練は、火災を想定しての避難誘導訓練と初期消火訓練、消防署からお借りした福祉施設火災の初期対応に関するDVDの鑑賞を行ないました。



避難誘導訓練の様子



水消火器を使用しての初期消火訓練

今回はより実践的な訓練のために入居者の皆様にもご協力いただき、宙組東ユニット十名の方を避難誘導し、時間を計測しました。全員避難するまでの時間は、4分45秒の時間がかかりましたが、実際の避難の際は混乱もあるでしょうし、夜間であれば職員も少なく、さらに多くの時間がかかってしまうことが予想されます。今回の時間を基準に、今後一秒でも時間を短縮できるようにしていかなければならないと痛感しました。

昨年も高齢者施設での火災で多くの犠牲者が出る痛ましい事故がありました。私達も決して他人事として捉えることなく、入居者様の安全を守るため日頃の訓練を重ねていきたいと考えています。

くわがいデイサービスセンター

くわがいデイサービスセンターには1日あたり20名の利用者にお越し頂いています。一日を楽しく過ごして頂くために、職員がいろいろ考えています。

ふだんの会話の中で、「○○さんは、こういう趣味があったんだ」「△△さんは昔こういう仕事していたんだ・・・」など多くの話を聞く機会があります。

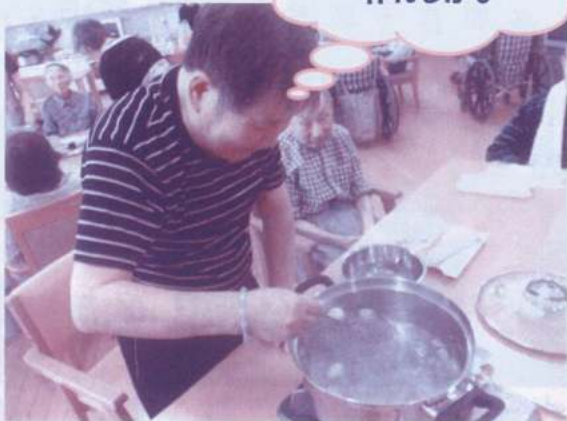
その中で得た情報をもとに、職員がレクリエーションを考えています。今日はその中から一例を紹介させていただきます。

くわがいデイサービスセンターにお越し頂いている、利用者の皆さまの素敵な笑顔をご覧ください。

～ 活動風景 ～

みたらし団子作り

美味しく
作れるかな



布草履作り

昔を思い出すなあ・・・



畑づくり

あそこは、
トマトとゴーヤ
育てよう。



梅ジュース作り

昔はよく家で梅ジュ
ース作ったね。



地域ケア会議



日程 平成二六年六月一七日
会場 やはぎ苑 一階会議室

平成二六年度第一回矢作東・南小学校
区地域包括ケア会議を開催しました。今
回の会議には岡崎市役所長寿課予防班や
矢作東、南小学校区の地域支援者（学区
福祉委員長・総代会長・民生委員長・
老人クラブ会長）、やはぎかんセンター長、
居宅介護支援事業所、医療機関等に参加
を依頼しました。「地域ケア会議」は、高
齢者個人に対する支援の充実と、それを
支える社会基盤の整備とを同時に進めて
いく地域包括ケアシステムの実現に向け
た手法です。

今年度は①医療機関への「徘徊高齢者
搜索依頼」②定年退職者（団塊の世代）
の介護予防③個別ケア会議の三つのテー
マについて話し合いました。地域の高齢
者が医療や介護等が必要な状態になっ
ても、適切なサービスを利用する事によっ
て、尊厳を保持しながら自立した日常生
活の持続が図られるように、医療・介護・
予防・生活支援・住まいが地域において
切れ目なく一体的に提供される矢作地区
になるように一歩一歩前進していきたい
と考えています。

介護者教室



保健師

長谷川恵美子

日程 平成二六年六月一八日
会場 やはぎ苑 一階会議室
講師 アベゼ 鶴岡 修先生

今回は「オイルマッサージ」についての勉
強会を開催しました。

最初に、講師の鶴岡先生からアロマの種類
で効能が異なるため、各々の体調や病気によ
って合うアロマを調べて作るとの説明があ
りました。

次に参加された皆さんも各自の状態を先生
に伝えてブレンドしていただきました。

そして、モデルの方を相手に「手・足」のオ
イルマッサージのやり方を先生から説明をう
け、実践して頂きました。その後で、参加され
た皆さんにも直接マッサージの方法を指導し
て頂き、部屋中にアロマのよい香りが漂い、
心身ともにリフレッシュすることが出来まし
た。

参加された皆さん全員が、大変すっきりと
した笑顔で勉強会を終えることが出来ました。
先生・並びに参加された皆様大変ありがと
うございました。



お好み焼き作り



介護職員 山本 実香

みんなで力を合わせておやつ作り。レクリエーションの一環として、年に何回か行なっていますが、今回はお好み焼きを作ることになりました。利用者の方を3つのグループに分け、それぞれの作業を分担して行います。作り始めるまで包丁で手を切らないか心配していましたが、キャベツのみじん切なんて私よりも数段上手で、そんな心配は杞憂に終わりました。若いころは、台所すら入ったことがないと仰っていた男性の利用者のかたも、「卵は俺が割るー」と張り切って割ってくださいました。

レクリエーションといえば、ゲームをすることが多いのですが、ゲームの時とは違った表情をされる利用者の方も見えて、普段見過ごしてしまうことが、レクを通して私たち職員も学ぶことが出来ます。

一人ひとりが熱心に、さらに皆さんの笑顔が最高の隠し味で出来上がったお好み焼きの味は、やっぱり格別でした。

これからも、利用者の方の新たな一面が発見できるようにレクを考えながら、私達職員も一緒に楽しい毎日を送っていきます。

グループホーム かみさの家

かみさの家 基本理念

ゆっくり、楽しく、普通の生活を



「 久しぶりの包丁さばき 」



「 チューリップ畑にて 」



「 石工団地祭り にて 」



「 誕生日会のお手伝い 」

かみさの家での日常を紹介させていただきます。

かみさの家では、「グループホーム＝施設」だからといって、何か特別な事
をしているありません。入居されている方々には、本当に何でもない、どこに
でもある日常を過ごしてもらっています。

住み慣れた家を離れてしまいましたが、今までの生活習慣はそのままに、
ご家族や地域との繋がりを持つ事で、皆さんに「私の家はここよ！」と言っ
ただけるように、スタッフは全力でサポートしています。

皆さん人とふれあう事が大好きな方ばかりなので、ワンちゃんのお散歩や、
お子さんやお孫さんとの昆虫採集などの際に、お気軽にお立ちより下さい。

7月には夏祭り、秋にはサツマイモ堀りを地域の方々と共に行おうと計画中です。

グループホーム class

まだまだ、ご存じない方はたくさんみえます。「グループホーム」耳にすること、文字を目にすることはたくさんあっても、どういった施設のことなのかはよく知らない・・・？。

近頃、「認知症」についてのニュースや特集がテレビや雑誌でよく組まれる様になってきました。これは、日本の高齢化社会に比例して認知症と診断される方が増えてきたことにもよると思います。今、およそ400万人に達すると言われてます。・・・ですが、これはまだ「そうであろう」とわかる範囲の数です。実際にはそれ以上の方が認知症に成りうる・または発症されているのかもしれない・・・。ご利用者様によって、選択できるサービスは様々です。その中の一つとして「グループホーム」をご紹介します。



かみさの家
スタッフの愛犬

やはぎ苑のすぐ側に住んでます。「かみさの家」の前に行くのが楽しみです。利用者さんはとっても優しく、昔、犬と住んでいた時の事を話してくれます。ぼくを見て、とても優しい笑顔を見せてくれるのがうれしいです。いつまでも素敵な笑顔を見せてほしいです。

グループホームって？

「認知症対応型共同生活介護施設」(グループホーム) → **認知症の診断**を受けられた要介護状態の方が対象になります。

1ユニット(5~9人)の小規模な生活の場で共同生活を行います。食事の支度や掃除、洗濯などスタッフが利用者様と一緒にいきます。家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送る事により、認知症状の進行を緩やかにし、心身の状態を穏やかに保つことができます。

長年、慣れ親しんできた生活様式(家庭的な暮らし)が守られ、一緒に生活させて頂くスタッフが黒子と化し、利用者様が主体となって生活され、個々の生活を重視し今ある力を自然な形で発揮できるようお手伝いをいたします。そうした生活の中で、過去に体験した「想い」から人としての誇りや自身を取り戻すこと、また個人としての尊厳が受け入れられる暮らしを目的としています。

グループホームでは、ご家族との繋がりをとても大切にしております。

「家族会」を設け、スタッフを交えて利用者様のご家族同士で、ご家庭での様子や困っている事、認知症についてなど情報や意見を交換する会を開いております。また、グループホームは地域との関わりも大切にしております。一人一人が「地域」という範疇は違いかもかもしれませんが、要するに、自分の慣れ親しんだ風景や環境が「地域」と呼べるのかもしれないですね。個人や個性、その人を知る・理解する人が身近にいることなのです。

そうなる為に、スタッフは日々馴染みの関係を築いていながら、「地域」社会との関わりを広げ、その人を知り・理解してもらえ人の居る「安心して暮らせる地域」を作っていくお手伝いをさせてもらっています。

第二やはぎ苑

『家族会総会』を開催しました

6月15日に町内公民館で、家族会総会を開催しました。今回は、4月の介護報酬改定に伴う利用料金変更について改めてご説明させていただくと共に、これからの介護保険制度の動向についてご紹介させていただきました。併せて、第1回運営推進会議を開催させていただいています。



その後、『笑いヨガ体験会』を開催いたしました。笑いヨガは、「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」を組み合わせた運動法で、心身をリフレッシュします。講師の指導のもとで、最初は少し恥ずかしかった笑いも、最後は皆様とても良い笑顔になってみえ、心身ともにリフレッシュされてみえました。

『農・福連携』を目指して

昨年度より、【人にも自然にも優しい農法】に取り組まれている地元の農家さんが作ったお米をいただいています。今年度は、第二やはぎ苑の前の水田で、優しい農法の稲作を開始されるに合わせ、施設と連携をしていきます。



《年間予定》

春 田植え体験会 (5/25 開催しました)

利用者さん応援のもと、職員が手植えをしました

夏 草取り作業

秋 収穫と収穫祭

冬～春 れんげ畑



秋にははさがけの風景を再現する予定です

今後、地域連携の一環として、運営推進会議を中心に計画をしながら、『農・福連携』に取り組んでいきます。

また随時、ご案内や経過報告をさせていただきます。

ご家族の皆様、地域の皆様のご参加をお待ちしております。

小規模多機能やはぎ苑



梅雨の時期となり、苑内での活動中心となっておりますが、少しでも楽しく自然に体を動かしたり感じたりする事ができるよう7月・8月も月間行事を含めたAM・PM活動を計画させていただきます。また現在21名の方に登録して頂いていますが、今後も自宅での生活が続けられるよう、通い・泊まり・訪問支援により地域での暮らしのお手伝いをさせて頂ければと思います。尚、第2やはぎ苑の様子や取り組みは瑞穂会スタッフブログにて確認する事ができ、5月に田植えをした第2やはぎ苑南側の田圃の様子もブログ担当者が随時更新しています。ご意見・ご要望等をお寄せ頂けるとブログ担当者の励みになります。

四月



日本舞踏ボラ慰問・花見
ハイウェイオアシス散策
などなど



五月

大正琴・オカリナ慰問
バラ園散策 などなど



六月



外食会・あじさい散策
フラダンス慰問
などなど



十年勤続表彰

市木謙次 青島京子 井田侍子

伊藤博光 大森有希乃 清水亮太

深津紀子 浅見 崇 松浦隆史

秋元彩芳 三浦尚樹 附柴和子

石原美也子 前田ひろ子 堀田光江

宇野佐知子

五年勤続表彰

細井千代世 伊藤智美 中村優子

岡戸彰子 藤本直子 太田道代

久保田英揮 濱田知里子 判治育代

手嶋佐栄子 手嶋孝良 後藤恒祐

小松寛直 吉田大樹 所 歩美

天野綾香 太田彩水 松井茂幸

入江由佳梨 光野 薫 寺部磨理

井村雅子 徳永宮子 村手和子

小野寺カネ子

(順不同)

「ありがとうございました」

ご寄附・ご寄贈 (戦二十六年四月)

戦二十六年六月)

伊藤 ますよ 様

高須 久夫 様

峰田 勝 様

神谷 好政 様

匿名希望 様

編集後記

今夏も東海地方は例年並みに暑くなるようです。5月27日には厚生労働省より熱中症予防の啓発依頼がありました。具体的な予防策が2点ありますので参考にしてください。

- ① 「体に熱をためない事」 — 室内・屋外問わず暑さを避け、適度に空調機を使用する。また服装や冷たいタオル等で熱を逃がす事で対策しましょう

- ② 「こまめな水分・塩分補給」 — 高温多湿な環境に長くいると、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れてしまうので喉が渇く前の摂取に努めましょう

